

管内月間火山概況（平成22年5月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

- 火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）：桜島
- 火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）：霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
- 噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）：九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
- 噴火予報（平常）：阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成22年6月分）は平成22年7月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、海上保安庁、九州地方整備局大隅河川国道事務所、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、鹿児島県及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項

霧島山（新燃岳）では、6日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ← 6日に噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げ

6日07時頃から火山性地震が増加し、火山活動が高まりました。このため、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるかと判断し、同日（6日）14時00分に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その後、27日15時36分に小規模な噴火が発生しました。

新燃岳火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

きりしまやま おはち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

さくらじま 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

上月まで爆発的噴火の多い状態で経過しましたが、中旬以降減少しました。

4月以降は火山灰の放出量が減少したことや、5月中旬には山体地盤の沈降傾向がみられることから、桜島直下へのマグマの供給は減少していることが考えられます。

桜島の噴火活動は、中旬以降一時的にやや低下しています。今後、再び火山活動が活発化することが考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

さつまいおうじま 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。

硫黄岳山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

くちのえらぶじま 口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

新岳火口の噴煙活動はやや高まった状態で経過しました。

その他の火山活動に特段の変化はなく、新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では引き続き噴煙がみられており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付

近では火山ガスに対する注意が必要です。

^{すわのせじま}
諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳火口では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生し、噴火活動は活発に経過しました。

火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。

今後も御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められず、予報警報事項に変更はありません。